

東北大学陸上競技部

OB・OG通信

2023 年 No.1(2023.5)

・第 19 回 27 大学対校駅伝競走大会
・・・男子対校 7 位、女子対校 7 位

・今年度の抱負	2～4 ページ
・第 19 回 27 大学対校駅伝競走大会	5～6 ページ
・令和 5 年度三秀会総会	7 ページ
・令和 5 年度卒業祝賀会	7 ページ
・自己ベスト更新者一覧	8 ページ
・今後の予定	8 ページ
・編集後記	8 ページ

◎主将、女子主将、各 PC より今年度の抱負

・主将 齊藤 宥哉

東北大学学友会陸上競技部主将の齊藤宥哉です。今年度の抱負は「東北インカレ・七大戦の二冠」それから「全日本大学駅伝本戦にて部記録更新」です。現在のチームは以下のように構成されています。

- ・例年以上に走り込み、下級生を中心に格段にレベルアップした短距離パート
- ・初戦から大覚醒したキャプテン池谷が牽引するハードルパート
- ・「ノリと勢い」で数々のつらい練習を乗り越えてきた陽キャ集団、跳躍パート
- ・冬季の伸び率は確実にトップ、どんなメニューも淡々とこなす脳筋集団、中距離パート
- ・多数の新入部員をむかえ、さらに大きく強くなった長距離パート
- ・虎視眈々と対校戦での大量得点を狙う少数精鋭、投擲パート
- ・つねにハイレベルなサポートで選手たちを支えてくれるマネージャーパート

パートの特性はそれぞれ異なりますが、同じ方向をむいて研鑽してきました。とりわけ春合宿の前後で、チームの雰囲気はがらりと変わったと感じますが、それはひとえにパートの垣根を越えた交流が盛んになったからだと思います。最近の評定河原陸上競技場には、他パートの練習を応援する声が、いままで以上に響き渡っています。そして、多くの部員にとっての初戦、学連春季でははやくも PB・UB ラッシュ。先にご紹介したチームの抱負は、たしかに未曾有かつ難度の高いものですがこうしてチームが勢いよくシーズンインをむかえたいま、チームの目標を「無謀」と感じる部員は、ほとんどいないでしょう。

今年度のチームは幸い、コロナによる制約をほとんど受けずに、思う存分、練習を積み重ねることができました。たくさん部員が、自分はオフシーズンに正しい努力を重ねたはずだという揺るぎない自信を胸に、飛躍してくれるはずです。全員で「見たこともない景色」を全力で勝ち取りにいけますので、応援のほど、よろしく願いいたします。

・女子主将 伊藤未空

昨年8月より女子主将を務めている伊藤未空です。7月末までという短い期間ではありますが、よろしく願いいたします。この場をお借りして、女子パートの抱負を述べさせていただきます。

まず、今年度は「七大戦女子総合優勝」「東北インカレ女子総合3位」の2つを目標に掲げ、日々練習に取り組んでいます。今年度の女子パートの強み、それは「総合力」です。トラック・フィールドを問わず、多種目で得点を取る力は、他大学と比較しても秀でたものがあります。実際に昨年度の七大戦では、女子総合3位という結果ではありましたが、「入賞種目数」という観点では七大学の中でトップというデータも残っています。このことから、1人1人がその競技力を伸ばすことが出来れば、上記の目標の達成もそう遠いものではないと感じております。

そして「全員が楽しく競技に打ち込めるようなチーム」を作っていくために、女子ミーティングの改善を始めとして様々な取り組みを行ってきました。特に、悩みや要望を相談しやすい環境を整備する目的で作成した「自由相談フォーム」は新たな取り組みになったと思います。改良点も多く残ってはいますが、この取り組みが女子部員の「不安要素の解消」の一助となれば幸いです。

最後になりますが、日頃より多大なるご支援をいただいております三秀会の皆様へ、心より御礼申し上げます。昨今のコロナ禍においても競技場での練習を継続することが出来たのは、皆様のお力添えがあったことでした。この恵まれた環境に感謝し、来たる七大戦に向けて精進して参ります。これからも変わらぬご支援のほど、よろしく願いいたします。

・短距離 PC 川野輪拓也

昨年度より短距離 PC を努めさせて頂いている川野輪拓也です。早速ですが今年度の目標を発表させていただきます。それは「東北インカレ優勝に短距離パートが大きく貢献すること」です。少し抽象的な話になってしまいましたが、七大戦よりも比較的早い時期に開催される東北インカレを意識することで練習の質も向上すると考えており、実際に良い影響をもたらしていると感じます。

さて、他パート同様シーズン初戦を迎えた短距離パートですが、厳しい冬季練習の成果が大きく出ているように感じます。風が強く、気温も上がり切っていない難しいレース環境の中でいくつか PB を出す選手も現れました。

最近行った取り組みとしては、レースの振り返りフォームを作成し個人の目標が達成されやすいような後押しをしたことがあります。4×400mR を初めとして部記録の更新も可能であると信じているので、これからも変わらず温かいご支援よろしくお願い致します。

・ハードル PC 池谷駿

昨年夏よりハードル PC を務めさせて頂いております、池谷駿です。

私たちハードルパートは「全員が PB 更新、少なくとも UB 更新」「東北インカレ複数人表彰台」「七大戦全員決勝&複数人表彰台」を目標に練習に励んできました。昨シーズンは齋藤晃太 PC のもとでハードルパートは多大なる成績を残しましたが、今シーズンは留学や卒業のため、これまでハードルパートを牽引してきてくださった多くの先輩方がパートを離れることとなりました。しかし、新たにパートに加わってくれた選手も多数います。パートのメンバーは大きく替わりますが東北インカレ、七大戦など主要大会において総合優勝に貢献できるようパート一丸となって引き継ぎ努力していきます。

私も PC の責務を全うできるよう、尽力してまいります。これからもご声援よろしくお願い致します。

・中距離 PC 大塚光陽

昨年 8 月より中距離 PC を務めております、大塚光陽です。昨年も依然としてコロナの蔓延が続く中でしたが、1 年間練習や大会参加を継続出来たことに何より喜びを感じています。この場をお借りして、ご尽力頂いたすべての方々に感謝申し上げます。

中距離パートの目標は、「全員の PB 更新」、「東北 IC の中距離種目で 30pt」、「七大戦の中距離種目で 15pt」です。得点の詳細については割愛しますが、昨年より大きく結果を伸ばす必要があります。ただ、現時点で前年よりかなり高い質で練習を消化出来ているので十分達成出来る目標だと考えております。

中距離パートにとって来シーズンは、長年支えて下さった先輩方が引退されるため勝負のシーズンとなります。強い新生中距離パートをお見せできるようにまずは自分がパートを引っ張っていかれたらと思います。引き続き応援のほどよろしくお願い致します。

・長距離 PC 向田祐翔

昨年 11 月から長距離 PC を務めております、3 年の向田です。昨年度も OB・OG 皆様のご支援により多くの大会に出場し、記録を残すことが出来ました。ありがとうございました。

今シーズンの長距離パートの目標は、昨年に引き続き「全日本大学駅伝への出場および全日本大学駅伝での部記録の更新」です。昨年は代替わりによって全日駅伝経験者が減ったことで、出場や部記録更新の目標に対し、不安を抱えながらのシーズンインでしたが、東北インカレ、全日本予選会では新戦力として前 2 年生(現 3 年)が台頭し、大幅 PB 更新や全日本大学駅伝出場に大きく貢献しました。今まで

経験豊富な院生の力を借り戦ってきましたが、それとは真逆の新2，3年生の学部生中心となった、新しい長距離パートの体制となります。多くの1年生が入部したこともあり、若い部員が中心となって切磋琢磨しながら全日本大学駅伝出場を目指していきたいと思います。

また、昨年は東北インカレでは得点を例年よりも獲得することができましたが、一方七大戦では無得点という形になってしまいました。二ヶ月後に予選会を控え、長距離には不向きな夏ということもあり厳しい条件下ではありますが、他パートと一丸となって七大戦優勝に貢献していきたいと思っています。

PCとしてチームにいい影響を与え、自身の記録も伸ばせるよう尽力していきますので、応援よろしくをお願いいたします。

・跳躍 PC 久保田大聖

昨年8月より跳躍PCを務めさせていただいております、久保田大聖です。

跳躍パートの今年度の目標として「東北ICで跳躍種目の総合得点トップ」、「七大戦で跳躍種目の総合得点2位以上」、「大会に出場した部員全員のPB更新」を掲げております。目標達成のために、競技力向上に効果的なメニューの試行錯誤、モチベーションが落ちやすい冬季期間も、多くの部員が継続的に練習できるようにPCとして毎日合練に参加してモチベーションを高め合えるような雰囲気作りに努めて参りました。私の意図した効果がどのくらい出たのかは定かではありませんが、今年の冬季はコロナウイルスによって活動制限を受けることはほとんどなかったこともあり、3月頃から気温が上がるにつれて調子を上げている部員が多い印象です。しかし力をつけているのは他大学も同じで、東北地区の他大学の跳躍種目に関しては下級生の台頭が著しく、特に水平系種目の激戦が予想されます。目標達成のためには同レベルの選手、やや格上の選手にも本番で勝つ勝負強さが必要です。

これからシーズンが本格化する中で競技力向上と同時にそのような勝負強さを得るために、練習の質を高め、またパート内での競争意識を引き出せるようPCとしてパートを先導していけるよう尽力して参ります。応援のほどよろしくお願い致します。

・投擲 PC 川内蒼馬

投擲PCを務めさせていただいております、川内蒼馬です。今年度の投擲パートの目標は、「七大戦で出場する全種目で得点」、「東北ICで昨年を上回る34点を得点」することです。

昨シーズンは七大戦・東北ICで投擲種目での大量得点、女子砲丸投・ハンマー投の2種目での部記録更新等、多くの部員が目覚ましい活躍を見せてくれました。特に、その中の多くがまだまだ成長の見込みがある1、2年生によるもので、今年度は更なる活躍が期待できます。

それを踏まえ、今シーズンの目標は、昨年達成することができなかった七大戦で出場する全種目で得点すること、東北ICで昨年を上回る34点を得点することの2つに決めました。

我々投擲パート一同は今年、厳しい冬季練習を乗り越え、更に実力をつけて参りました。また、これまで部員が少ないことに悩んでいた投擲パートですが、今年は期待の新人が複数入部してくれており、先に掲げた目標を達成することに大きな可能性を感じています。

最後になりますが、日頃から東北大学陸上競技部を応援してくださっているOB・OGの皆様にご場をお借りして感謝を述べさせていただきます。投擲PCとしてメンバーの活躍はもちろん、私自身も相応しい結果を残せるよう日々の練習に励んで参りますので、応援の程よろしくをお願いいたします。

◎第 19 回 27 大学対校駅伝競走大会 (1/14)

～熊谷スポーツ文化公園陸上競技場～

1月14日(土)に埼玉県の熊谷スポーツ文化公園陸上競技場にて、第19回27大学対校駅伝競走大会が開催されました。本大学からは、オープンチームを含め男子4チーム、女子1チームが出場いたしました。以下、結果と各チームの代表者の観戦記を紹介します。

・結果

順位	チーム名	1区 10.1km	2区 2.96km	3区 7.76km	4区 4.8km	5区 4.8km	6区 7.76km	総合成績
7	東北大学 (男子対校の部)	安本尚生(2) (11)32.57	藪下温司 (M1) (1)9.07 (6)42.19	向田祐翔 (3) (7)25.29 (7)1.07.33	千葉航太 (1) (7)15.48 (7)1.23.21	深澤昇悟 (2) (5)15.40 (7)1.39.01	坂本順(3) (10)26.30 (7)2.05.31	2.05.31
12	東北大学中距離 (オープンA)	大塚光陽(2) (13)33.20	尾崎祐太(2) (8)9.46 (12)43.06	渡辺芽(1) (13)26.58 (12)1.10.04	富田綾人 (3) (12)16.25 (12)1.26.29	相澤啓太 (3) (12)16.32 (13)1.43.01	辺見陽一郎(3) (15)28.08 (12)2.11.09	2.11.09
15	東北大学C (オープンA)	阿部圭宏(4) (29)35.44	江口実(3) (20)11.22 (28)46.21	渡辺大樹 (2) (14)27.06 (22)1.13.27	渡辺喬介 (3) (17)17.02 (21)1.30.29	田中伊織 (1) (15)16.46 (16)1.47.15	熊谷慧(1) (16)28.17 (15)2.15.32	2.15.32
	東北大学B (オープンA)	杉山大輔(1) (20)34.12	緑川翔太(3) (10)9.57 (16)44.09	小林由輝 (2) (11)26.19 (13)1.10.28	鳥山拓実 (2) (11)16.22 (13)1.26.50	児玉健太 (4) (6)16.08 (12)1.42.58	野々瀬一毅(1)	途中棄権

順位	チーム名	1区 5.14km	2区 2.96km	3区 2.96km	4区 4.8km	総合成績
7	東北大学 (女子対校の部)	江口真央(1) (10)20.48	木村瑞葉(2) (4)11.59 (6)32.47	小山麻妃(3) (10)13.28 (8)46.15	加藤ひより (M2) (9)19.40 (7)1.05.55	1:05.55

・観戦記

東北大学(男子対校の部) 代表 向田祐翔

今回の大会は出場すら危ぶまれる状況でした。多くの怪我人が出た上、コロナやインフルエンザにかかり、調子を落とし、直前で出場できなかった選手もいました。その中で入賞大学に肉薄する走りを出来たのは最低限よかったと思います。新体制の中で、怪我、病気が多く、駅伝大会に対する意識が低いように思います。来年度の予選会に向けて、気を引き締めてトラックに向けて走り込んでいきます。

東北大学中距離 代表 大塚光陽

27 大駅伝のオープンに中距離パートとして出場しました。1～3年生のみの若手中心のメンバーで臨みました。目標は全体で3'20/kmを切ることでした。単独走や差し込みにやられ目標ペースを下回る区間もありましたが、想定以上の走りを魅せた区間もあり、目標を達成することが出来ました。この結果をシーズンにつなげていきたいと思います。

東北大学 C 代表 渡辺大樹

チームの結果としてはタイムが2時間15分32秒、順位はオープンAで15位でした。十分に練習が積めていない人もいましたが、その中でもチーム目標である2時間16分20秒を48秒下回り、目標を達成できたことは良かったです。この要因としては、それぞれの区間の設定タイムを大きく超過した人がおらず、安定してレースを進められたことが挙げられます。レースとしては後半の区間になるにつれて徐々に順位を上げていく展開となりました。それぞれの区間でしっかり前を追って走ることが出来たため、半分より上の順位でレースを終えることが出来たのではないかと思います。個人で見ると、良い走りが出来た人も、納得いかない結果の人もいたはずですが、しかし、レースが少ない1月に駅伝を走り、チーム全体で目標を達成したことは、個人結果に関わらず良い刺激になったのではないかと思います。

東北大学 B 代表 杉山大輔

怪我人や体調不良者が出てしまい最後までタスキをつなぐことができなくなったため、Bチームは5区までタスキをつなぎ途中棄権という結果になりました。チーム目標として建てた2時間10分切りは達成できませんでしたが、ほとんどの選手が区間で建てた個人目標に大きく迫るタイムで走れたことはよかったと思います。今回の駅伝では駅伝直前の怪我や体調不良のほか、少し前に体調を崩し思うように練習ができずに駅伝を迎えた人が多く、満足のいく結果ではなかった人が多かった印象です。Bチームもその影響で出場選手が6人揃わずに欠場する可能性もありましたが、無事出場できたことはレースの少ない冬場に自身の現状、課題を把握できた良い機会になったのではと思います。

東北大学(女子対校の部) 代表 木村瑞葉

女子対抗の部に出場した木村瑞葉です。女子チームは新型コロナウイルスの影響もあり、3年ぶりに出場しました。メンバーも4人中3人が初出場という構成でしたが一人一人がそれぞれの役割をこなし、少しでもタイムを縮められるようレースに臨みました。結果は7位と入賞圏内の6位に29秒届きませんでしたでしたが久しぶりに女子でチームを組んでこの大会に出場できたことは来年以降につながるのではないかと思います。これからもお互いに切磋琢磨しながら練習を積んでいきたいです。

◎令和5年度三秀会総会 …書面決議

一昨年、昨年度に続き、今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、「書面決議」にて開催しました。決議案および報告事項の文章を会員の皆様に配布し、同意できない場合のみ、電子メールまたは郵便で表明するものとし、表明をしなかった会員については全ての議案に同意したものとみなすことにしました。今年度は130件以上の閲覧がありました。以下の議案について、全て承認されました。三秀69号に掲載予定です。

- ①会則改正：総会の開催方法について見直しが行われました。
- ②令和3年度活動報告および収支決算
- ③役員改選：S47 卒岩淵明さんが新会長になりました。前会長のS49 卒稲見文雄さんは顧問になりました。副会長の1名がS50 卒尾本俊さんからS52 卒柴田清さんに交代し、尾本さんは幹事となりました。H28 卒高橋佳希さんが東海支部長になり、支部通則に従い幹事に選任されました。
- ④令和4年度活動計画および収支予算

◎令和4年度三秀会卒業祝賀会（文責 H9 卒吉田） …3年ぶりの対面形式

現役部員の卒業を祝し、令和4年度三秀会卒業祝賀会を2023年2月11日（土）にANA ホリデイ・イン 1F のレストランで、3年ぶりに対面形式で開催しました。感染対策への配慮から6つのテーブルに分かれての着席形式としました。参加者は卒業生が23名、OB・OGが12名でありました。対面形式に戻ったためか卒業生の出席率は約7割と高く、本祝賀会に活気が戻ったように思います。

はじめに稲見前会長と岩淵新会長から祝辞を賜り、続いて柴田副会長に乾杯のご挨拶をいただき開宴となりました。暫く歓談した後、卒業生一人一人が、4年間の競技生活を振り返るとともに、今後の進路および豊富を語りました。また、参加したOB・OGの方々にご挨拶いただき、最後に、彦坂副会長が中締めをしました。

祝賀会後に多くの卒業生より本会の開催に対する御礼の言葉が寄せられました。4月より三秀会の新会員として、今度は現役部員をサポートする立場になることの自覚が芽生えたものと期待しています。

出席いただいたOB・OG（敬称略）：S47 岩淵 明、S47 及川拓郎、S49 稲見文雄、S50 源栄正人、S52 佐藤健二、S52 柴田 清、S54 大浦 譲、S55 佐藤源之、S56 眞山隆徳、H2 彦坂幸毅、H5 久保正樹、H9 吉田真人

寄付の申し出をいただいたOB・OG（敬称略）：H2 三浦 真

◎自己ベスト更新者一覧 (11/23~4/23)

・男子 100m

阿部竜胆(2)11.19(+1.6) 学連春季(4/8)

川村昌也(2)12.45(+1.6) 学連春季(4/8)

・男子 400m

池谷駿(3) 48.63 学連春季(4/8)

・男子 800m

杉山大輔(2) 1:59.89 県春季(4/23)

・男子 1500m

田中伊織(2)4:35.84 学連春季(4/8)

・男子 3000m

児玉健太(4)9:39.44 学連競(12/4)

・男子 5000m

安本尚生(2)15:05.80 日体大記録会(11/26)

向田祐翔(2)15:15.63 日体大記録会(11/26)

矢嶋由弦(3)16:16.40 仙台市競技会(11/23)

・男子 10000m

安本尚生(2)31:52.53 学連競(12/4)

坂本順(3)32:30.48 学連競(12/4)

矢嶋由弦(3)33:27.30 学連競(12/4)

小林由輝(2)33:29.00 学連競(12/4)

・男子 110mH

西里碧澄(2)15.61(-0.9) 学連春季(4/8)

・男子走高跳

米井潤風(M2)1m85 関東学連春季(3/17)

・男子棒高跳

島村惟葵(2)4m60 学連春季(4/8)

金岡有途(2)3m00 学連春季(4/8)

米井潤風(M2)3m30 県春季(4/22)

・男子やり投

米井潤風(M2)47m78 学連春季(4/8)

・ハーフマラソン

小林由輝(2)73:39 立川ハーフマラソン
(3/12)

渡辺大樹(2)75:20 立川ハーフマラソン
(3/12)

・女子 400m

加賀谷美結(2)1:01.24 学連春季(4/8)

・女子 800m

加賀谷美結(2) 2:25.96 県春季(4/23)

◎今後の予定

6月3日 部員総会、東北インカレ壮行会

6月9日~6月11日 東北インカレ(北上)

6月18日 北大戦(仙台市 弘進ゴムアスリートパーク仙台)

◎編集後記

いよいよトラックシーズンの時期です。冬季練習の成果を十分に発揮し、シーズン目標を達成できるよう練習に励んでおります。今年も三秀会員様に良い報告ができるように日々精進して参ります。

本年も東北大学陸上競技部の応援をよろしくお願いたします。

文責 OBOG 通信担当 須藤桃由

編集補助 牧野雅紘、酒井健

東北大学陸上競技部三秀会
〒980-0815 仙台市青葉区花壇 2-1
東北大学評定河原グラウンド内
hukumu_tohoku_ob2sin@yahoo.co.jp